

教育目標

- 自ら学ぶ生徒
- 自他を思いやる生徒
- 健康でたくましい生徒

学校だより



第27号

平成28年 1月22日発行

須賀川市立第三中学校

TEL 73-2377

発行責任者：校長 高崎則行

3学期は「学力向上」「教育相談」「家庭との連携」を重点に



第2学期は、1学期の反省を基に

- 1 授業の充実と学力向上
- 2 読書活動の推進
- 3 部活動におけるよさや可能性の伸長
- 4 校内文化祭や松明あかしを頂点とした感動体験
- 5 機会を逃さない適切なチャンス相談
- 6 生徒や保護者のニーズに合った定期教育相談

の6点を重点課題として、教職員一丸となって教育活動を展
してきました。

その結果について、まず成果を取り上げます。

- 「2」の読書に関しては、1月の平均で1年生が3.0冊、2年生が2.7冊、3年生が1.7冊となり、1、2年生はほぼ目標を達成できました。3年生については受験期なので無理をさせず、入試が始まって進路が決定した者から読書に親しむよう働きかけることを2学期当初の方針にしていました。
- 「3」の部活動に関しては、2年生を中心にした新チームが非常によく成長しました。チーム内で切磋琢磨する雰囲気や醸成されれば、さらに実力が高まるものと期待しています。また、そのようなチームは、新人大会以降も徐々に実力をつけ、実績も上がっています。
- 「4」の感動体験に関しては、満足感や達成感を十分に味わい、学級の団結力や愛校心も高まりました。1、2年生も次年度に向けて意欲が高まっているようです。

次に、課題を取り上げます。

- 「1」の授業に関しては、本校で進めている「協同的な学習」の授業スタイルに生徒が高い満足感を得ています。特に文化祭以降は、どの学年・学級も非常に落ち着いて真剣に学習している様子が見られます。しかし、実力テストの結果を見ると、3年生はほぼ県平均まで伸びてきましたが、1、2年生は1学期と比べて横ばいか、教科によっては下がっているという状態です。現在、望ましい授業の様子ではありますが、成果が表れるまでさらに粘り強い継続指導が必要です。
- 「5」のチャンス相談に関してですが、基本的には思春期の子どもたちですから悩みやストレスが多くなるのは自然なことだと考えます。ですから、適切な指導と教育相談が重要になるわけですが、悩みが長期化している生徒、学校生活にマイナスの影響が出ている生徒が少し増えてきていることを真剣に受け止めなければならないと考えています。
- 「6」の定期教育相談に関しては、3年生に比べて1、2年生の満足度が低い結果となりました。定期教育相談後も継続して対話の機会をもった3年生と、そうではなかった1、2年生の差が出たのかもしれない。学級担任の目から見た学校での様子を知りたいという声も上がっています。

さて、このような反省に基づいて、第3学期は（短い学期ですから）重点課題を次の3点に絞って教育活動を充実させたいと思います。

- 1 1年間の学習内容のより確実な定着
- 2 機会を逃さないチャンス相談とチーム対応
- 3 家庭との積極的なコミュニケーション

（次ページへ続く）

(前ページから)

- 1 基礎基本を活用する授業を行い、活用することで基礎基本の定着を図ります。また、これまでに学習した範囲の内容で、定着不十分なところは補充に努めます。
- 2 関係する教師間で協力し、不安や悩みなどの早期発見と早期対応に努めます。
- 3 電話や面談でご家庭とのコミュニケーションに努めます。保護者の皆さんからの声掛けも敷居を低くしてお待ちしています。

小中一貫教育の進ちょく状況 5

施策3: 道徳性・社会性の育成

「発達の正しい理解に基づく丁寧なつなぎ」

- 1 系統性・発展性を踏まえた教科道徳と特別活動の教育課程編成
○「学習指導要領・解説編」の研究
○教科道徳に関する移行措置
- 2 「丁寧なつなぎ」のための相互アプローチ
(1) 年間指導計画における重点価値・内容の位置づけ検討
○自己教育力の育成との関連を図った事前・事後指導
○互いの指導内容や指導方法、児童生徒の発達に関する理解を深める
「見せ合い授業」強化期間(各学期1回、各2週間)
(2) 身に付けさせたい資質・能力を明らかにした豊かな体験活動
○重視したい、小5からの中学生体験・中学生の社会人体験
○社会生活、職業生活とのつながりを意識させる本物との出会い
(ふるさと教育～キャリア教育)
○小学生は憧れ(目標)の形成、中学生は模範の自覚を促す合同行事や交流活動
(3) 子どもの発達段階に応じた生活指導
○家庭教育の在り方に関する啓発・協力依頼
○ボランティア活動等、地域行事への家族参加奨励

施策3は、「こころの教育」です。枠組みは、本紙第25号で紹介した施策2と同じです。道徳の授業、体験活動、生活指導の3つの柱で小・中学校の教育活動をつなぎます。また、生活指導の一環として、いじめや不登校対策を検討しているところです。

各種表彰の記録

昨年末に表彰伝達したものです。

第51回岩瀬地区書写コンクール

推薦：阿部成実 薄井桃香 大岩青空 (以上3年)
相樂叶夢 西牧美渚 村越愛希 佐久間亜美
水野伊菜 小林いぶ稀 増賀咲紀 (以上2年)
須藤雄哉 鈴木優花 町島伶威 (以上1年)
他に特選86名、金賞103名、銀賞128名

岩瀬地区小中学校音楽祭 第3部創作

金賞：五十嵐美理 村越愛希 大賀絢音
松谷美萌 (以上2年) 永瀬 愛 (1年)

明るい社会づくり作文コンクール

入賞：森田萌々 関根奈央 (以上3年)
松谷美萌 西牧美渚 石川幹太 (以上2年)

交通安全ポスターコンクール

優秀賞：大竹茉侑 (3年)
優秀：鈴木菜月 小松田桃香 (以上2年)
佳作：近 雪寧 (2年)

須賀川市文化祭文芸大会 俳句の部 (青少年の部)

特選：大岩青空 (3年) 秀逸：阿部成実 (3年)

第35回全国中学生人権作文コンテスト福島県大会

奨励賞：関根修斗 (3年)

須賀川市愛護育成会作品展

優秀賞：味戸真奈 西戸里奈 (以上3年)

校内スプリングコンテスト

優秀賞：1年4組、2年4組、3年4組
他に満点賞1年21名、2年48名、3年48名

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

第2学期末には、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。第3学期及び次年度の教育活動の充実に向けて活用させていただきます。

自由記述の内容に関してもすべて内部で話題にし、優先度に応じて実施可能なことから改善してまいります。次年度の「弁当の日」や「自転車通学の許可基準」の見直しはその一端であり、校内文化祭の土、日開催も文化センターの利用と併せて検討中です(文化センターは土曜、日曜は利用できません)。また、せっかくご意見をいただきましたが、現状にかんがみ実施困難なものは見送らせていただきます。例えば、学級だより発行のご要望がありました。担任によって勤務条件が異なり、得手不得手もあることから、職務として一律に命令することはせず、そのような声があることを受けとめて「家庭との積極的なコミュニケーション」を心がけることを3学期の重点課題としました。ご理解をお願いします。

また、記名いただいた方にはご返答させていただいておりますが、ご意見が多岐にわたるため、匿名のご意見のすべてに紙面で答えることは困難です。ご意見に対する学校としての当面の見解は、文章にまとめております。なるべくお答えしてまいりたいと思いますので、電話または学校においでの際に、校長または教頭にお声をかけてください。

本校ホームページでもご覧いただけます。アドレスhttp://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=196